



勝浦ロータリークラブ

51期 THE WEEKLY REPORTS

2013-2014年度

No. 38 / Total 2405

例会 : 2014. 06. 06

発行 : 2014. 06. 13

R | 会長 ロン D. バートン

第2790地区 ガバナー
関口 徳雄 (浦安)

第5分区 ガバナー補佐
川名 幸雄 (千倉)

第5分区 幹事
鈴木 健史 (千倉)

第2790地区
ロータリー財団委員会
補助金小委員会 委員長
関 一憲 (勝浦)

第2790地区
ロータリー財団委員会
資金推進小委員会 委員長
伊藤 正人 (鴨川)

勝浦ロータリークラブ
会 長 中村 昇
幹 事 小林 悠紀

クラブ会報委員会
委 員 長 渡邊 ヒロ子
副 委 員 長 関 一憲
委 員 手塚 明宏
渡邊 光一

◆報告内容

6月6日(金) ゲスト: 黒沼ユリ子 氏
(世界的なヴァイオリニスト)
卓話『今なぜ御宿へ』

◆本日の例会

6月13日(金) クラブ協議会 I

◆次回例会予定

6月20日(金) クラブ協議会 II

6月27日(金) 夜間家族例会

会場: 東急ハーベスト勝浦

◆会長挨拶 中村昇会長



皆さんこんにちは。雨の中大変ご苦勞様です。いよいよ梅雨に入ったようです。昨年7月に古川範男会長から引継ぎし、早いもので今月は今期の最終月となりました。

次年度中村 満会長のロータリー組織票も出来上がり元気いっぱい頑張りたいと思います。

今月はロータリー親睦活動月間でいわば締めめの月ともいえます。こんな月に相応しいかわかりませんが善く生きるということについて少しお話をさせていただきます。

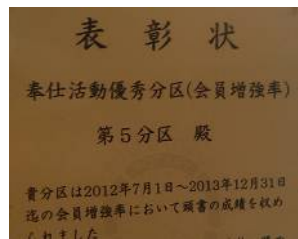
任務解除命令を受けていないと、戦後30年近くをフィリピン・ルバング島で受命を一途に厳守し、昭和49年に帰国した小野田寛郎氏が年初に亡くなりました。その精悍な風貌と凛とした姿勢は、正に往時の帝国軍人(元少尉)そのものでありました。帰国後、日本で年月を重ねた小野田氏は、「ジャングルに一人で暮らしてみろ、今の日本人は社会の恩恵によって生きていることを忘れてる。」と、利己主義に走り、道徳心を欠如した現代人の姿に、我が国の行く末を案じていたのではないだろうか。

20世紀最大の歴史家と称されたアーノルド・J/トインビーは、「一つの国が減じるのは、戦争や経済破綻によってのみではない。国民の道徳心が失われた時である。」と喝破しております。

人生の意義は、単に生きるのみにあらず、道徳心を養い、何時でも「お蔭様」の気持ちを忘れることなく善く生きる事であると思います。

小野田氏は、ブラジルに移住して牧場経営、そして日本に戻り少年達に自然界での生き方暮らし方を子供たちに伝授し、人生を全うしたわけですが、精神力の強さはずば抜けていたのでしょう。陸軍での秘密訓練では途中でやめて行く者には強制してもダメ、自らが本当に心底やりたい、やらせて頂きたいとの気持ちが無ければ到底使い物にはならないと、やる気と熱意、思いやりが必要と力説していたことを思い起こします。我がロータリークラブは勝浦市という行政に係わる一協力団体に過ぎないのかもしれませんが、市にとって良かれと思ったことには、即実践行動に移して側面的に協力させて頂いております。ロータリーは勝浦市の行政の補完的存在のみならず、これからも積極的に市行政発展のために意見具申等させていただくなど協力を惜しまず前進して行きたいものです。

◆第5分区ガバナー補佐 川名幸雄氏



皆様のおかげで、奉仕活動優秀分区として表彰を受けることができました。また、ガバナー補佐として無事に11ヶ月終わることが出来たのも、みな様のおかげです。

次年度は館山RCの望月氏が引き継いでくれます。ロータリー暦も長く、人間的にも大変素晴らしい方です。一年間どうもありがとうございました。

◆第14回 JC サマーキャンプ



一般社団法人勝浦いすみ青年会議所、副理事長 戸坂健一氏 (右) 青少年育成委員会委員長 曾我野正樹 (左)

◇8月23～24日に『山登りをしながら精神面を鍛えよう』という目的で、小学5～6年生70名を対象に開催します。富士山のとなり、愛鷹山から富士山を見ます。今年もご協力をよろしく願います。

◇ゲスト紹介 古川範男 君



世界的なヴァイオリニスト プラハに留学してから32年間、恵まれない子どもたちに音楽を伝え、指導してこられました。これほどメキシコと強いつながりを持った方はいません。

◆ゲスト卓話：黒沼ユリ子氏 (ヴァイオリニスト)



1958年に日本を離れ、演奏のために時々帰国していたものの、御宿に住んで一ヶ月、思っていた昔の日本の美德が薄れた気がします。日本人は先入観が強いのではないかと、もう少し公平感で世界を見れるようになればと思います。・・・御宿には『五倫文庫』という素晴らしい歴史がありました。地震で崩壊した学校を再建しようと、一人五倫募ったところが起源だそうです。・・・メキシコだけでなく、世界的に見ると、ほとんどの国が歴史には裏があることを隠さない。メキシコの国定教科書には奴隷貿易のことも書いてありました。外国のことは知らなくても、自分の国のことくらいは正しく知っておきたい。子どもたちには、縁に会い触れたときには、それが生かせる子どもたちになって欲しい。まずは偏見を持たないようにする努力が必要。ロータリーのみな様には、ぜひその先駆者となって、活動して欲しいです。

外国、特にヨーロッパでは、なぜ和楽器ではなく、Violinなのか、なぜ日本人からviolinを教わるの？といった質問や中傷を受けました。そう言われながらも32年間続けてきた活動を通じて、日本とメキシコの交流が生まれました。音楽は通訳を必要としません。日本の子ども達の中には、メキシコの明るく楽しむ様子を見て、メキシコ、ヨーロッパに飛び出した子もいます。メキシコの子どもたちは、日本人の勤勉な姿勢を学んだそうです。御宿で今後もコンサート活動をしてまいりますので、宜しくお願い致します。

(勝手ながら中略、要約させて頂きました。失礼をお許しください)

◆出席報告 (6月6日) 手塚明宏 委員長



会員数 36名
出席者数 26名/MU数 6名
欠席者数 4名
出席率 88.89%